五・一五事件と犬養毅内

平成16年2月7日・高根台公民館

かけ 対する怒り、思いのたけを思いっきりぶつけたものだったのです。 ようになった、 この「問答有用」というタイトルです。 いうものが全くないの あったのを、 八から軽妙洒脱に面白い この事件をきっかけに盛んになったファシズム、 夢中になってラジオにかじりついたものでした。 戦争中、ラジオから流れてくる「宮本武蔵」の絶妙な語り口。 ているようでした。そしてそれは同時に、 ご記憶の方も多いと思います。夢声という人は、 どんどん話し合おう。 ですから、 話を引き出したのですが、私が鮮烈な印象を覚えたのは 「問答有用」という徳川 私なんかも勤労動員 そんな新しい時代の到来を、 戦争が終わって、 きょうのテーマである五・一五事 物を云えなくなった日本に その夢声が時の人、 夢声 の軍需工場から帰っ 何でも自由に物が云える 人気対談シ 話のうま とにかく 私たちに呼び ij 話題の 、娯楽と 人でし てくる

う。 は政友会、 国議会が うになったのは、 ることは敗戦まで十三年間、二度となかったからです。 き言葉です。 かる」は、民主主義の本質と心を最も端的に表現した言葉だと云っていい 制しましたが、 首相官邸を襲撃しました。 何も出 の時代」を迎えたのは、 昭和七年五月十五日の夕方、海軍青年将校と陸軍士官候補生の一団が永 長年政党政治、 事件によって戦前の政党政治が事実上終止符を打ち、 一五事件が日本の政治史上、最も重大な意味を持っていると云われるのは、 じた。 開設されてから、 民政党の二大政党が交代で政権を担って六代、たった八年で終わ それに対して返ってきた「問答無用」は、 い日本になっていったの 「問答無用、 そして政治の主役は軍部に代 大正十三年の憲政会加藤高明内閣の時です。 議会政治に命を賭けてきた犬養の、 七十七歳の老首相犬養毅は、「話せばわかる」と一同を ここまでくるのに三十四年もかかったのに、 つまり総選挙で勝利した第一党の党首が首相になるよ 撃て!」の一声と共に射殺されたのです。 です。 わり、 軍部の鼻息をうかがわなけ 言論の完全な否定でした。 まさに真骨頂とも云うべ 日本が本格的な「政党内 政党の党首が首相にな 明治二十三年に帝 「話せばわ でしょ 田 つ 内閣 町

わずか半年で暗殺されたの 政友会の犬養内閣が誕生したのは昭和六年十二月ですが、 それどころか て狙っただけで、 「清潔 な政治家であり、 でしょうか。海軍将校たちは軍法会議で、 犬養には個人的な感情はなかった」と云っ 立派 な人だと思っていた」とさえ云 犬養はなぜ首相就任 「腐敗 て

古島は辞退して吉田を推薦し、 の鳩山一郎が公職追放され、 なったばかり 養はそのために殺されたのだ」。 っているのです。 陸軍や関東軍が進めてきた傀儡国家満州国に、犬養が断固反対したからだ。 の吉田茂が何でも相談に行く、 この老人は」と思ったものでしたが、 果たして、 鳩山兄弟のおじいさんですが、 政党の総裁というだけで暗殺されたのでしょうか 吉田のご指南番、 こう断言するのは古島一雄です。 和服姿の変な老人がいました。私な 後見役に徹したのです。 それが古島です。自由党総裁 後継総裁に推された

頼していた古島の言葉だけに、「満州国に反対したから殺されたのだ」という言葉 の第一次護憲運動のスローガンも古島が考え出したものなのです。 が二個師団増設を強硬に要求して政友会の西園寺公望内閣を倒した時、 その右腕となった人です。「大正デモクラシー」のきっかけとなった大正二年の 十日余りで崩壊してしまいました。民衆の力が内閣を倒した最初の例ですが、 大正政変も、この古島の一言が大きく動かしたと云えるのかも知れません。陸軍 古島は新聞 子規が文化部長なら古島は政治部長のようなものです。 全くお金を使わない文字通りの理想選挙で代議士に当選、 閥族打破」の声が全国にこだまし、 大変な重みがあります。 「日本」で政治記者として活躍し、俳句の正岡子規と一緒に机 代わったばかりの長州閥桂太郎内閣は五 明治四十四年に無一 犬養に惚れ込ん 犬養が一番信 「憲政擁 2 7

かせると思っていたのです。 の担い手として、青年将校たちの人気を集めている陸軍期待の星です。 こう公言していましたから、 「満州問題はどんな犠牲を払っても、 大番頭です。しかも「森内閣だ」と云われるくらい、 昭和六年九月十八日ですが、 「満州事変はあのままでは、仏作って魂入れずだ」と、満州国建国をぶっていまし 実は陸軍は、 外務大臣の幣原喜重郎も国際協調第一主義者です。それに対し 陸軍はこの二人さえいれば、 内閣書記官長に森恪、 書記官長は国務大臣ではありませんが、 最初は犬養内閣を歓迎していたのです。 陸軍にとっても好都合でした。荒木もまた国家革新 時の民政党若槻礼次郎内閣は「不拡大」の方針で 陸軍大臣に荒木貞夫中将と、対中国強硬論者が座 この際解決してしまわなければならない」。 犬養内閣はどうにでもなる、 森はやり手で発言力も強く、 今でいえば官房長官、内閣 満州事変が始まったの 思うように動 て今度の犬養 前々から した 0

とも に立ち入って押 次々と破っていることを知っていましたし、 ところが犬養首相は、陸軍が喜ぶほど軍部に協力的ではありませんでした。 閣が総辞職した時、 いえる注文をつけられています。天皇は、 配されていました。 し通すことは、 昭和天皇は後継内閣について、元老の西園寺公望に異例 ですから西園寺に 国家のために憂慮すべきことだ。 それが国際関係に悪影響を与えるこ 「今日のように、 陸軍が若槻内閣の「不拡大方針」を 軍部が国政、 お前から後継内

協調を旨とし、軍部の統制をしっかり確保することでした。 注文されたのです。天皇の意思は の首班になる者には、 この自分 ファッショのような者は絶対にいけな の心配を心して十分含ましてお いてほ 61 国際

を抑えていこうと心に誓ったのです。 そうです。犬養が「身命を賭して」とお答えしたのは、 いに胸が熱くなったからです。そして満州事変を平和的に解決することで、 し犬養には、少数政党を率いて、 槻は官僚育ちの人で、箱入りの弱さから、肝心のところでぐらつきました。 昭和天皇は参内した犬養に、「犬養頼む。 いと思ったからです。西園寺と犬養の間には、共に薩長の藩閥政治、 政党政治確立のために戦ってきた、同志としての連帯感があります。 後継首相に犬養を推薦したのは、その期待に応えられるのは、 逆境の中で鍛えられた筋金入りの気骨がありま 軍を抑えてくれ。 当時三十歳、 頼む」と云われた 若き天皇の思

がら、 を引き受けたのは何故だったのでしょうか。 犬養がそうした党内基盤の弱さを承知で、 分を支えてくれる派閥を持っていません。総裁になったのも七十四歳の尾崎が「借家人」と云うように、少数政党から政友会入りしましたから、 理大臣になったのでは、到底自分の志を行なうことは出来まい」。確かに犬養は 恪と荒木を抱えているのです。このことからして、矛盾と弱さをはらんでいる内 いと思います。 るようになった尾崎行雄は、 閣でもありました。護憲運動で犬養と共に先頭に立って、「憲政の神様」とい 実際は政友会という屋敷の借家人だ。借家人が政友会という屋敷の中で総 前途は多難でした。 こう云っています。 大体が内閣の中枢に、犬養とは全く考えの違う森 総裁になったのも七十四歳の時です。 しかも高齢を押して敢えて政友会総裁 まず、 「犬養は政友会総裁とは 犬養の生い立ちから見てみた 党内に自 な

でも選挙権を持てるようにした普通選挙法は、大正十四年に成立しますが、 と名前を付けたのも、 さらに「任重くして、道遠し」と続きます。 親が「士は以て弘毅ならざるべからず」。 許され、庄屋を務める郷士の家に生まれました。 い任務の道半ばを過ぎた時に、 いた年に生まれたからです。二十五歳以上の成年男子なら、 犬養は安政二年、岡山県の庭瀬藩という二万石のちっちゃな藩で、 評論家として活躍されている犬養道子さんです。 強くなければならないという、孔子の言葉からつけたものです。この言葉は 長年政治生命を賭けてきた普通選挙法に、やっと目鼻がつ 孫が生まれた」。この感慨をこめて命名した 一かどの男子たる者は、 犬養が大正十年に生まれた孫娘に道子 毅という名前は、 納税額に関係なく誰 心にゆとりを持 漢学好きの父 苗字帯

と貧苦のどん底だったと云います。 恵まれていた犬養の生活が激変したのは、 六歳から習っていた漢学を生かして寺子屋を開きましたが、 犬養という人は、 十四歳の時に父親がコレラで病死し 自分の所にきたはがきの余 飢え

そうです。 白を丹念に切り取って同じ大きさに揃え、 れるな」と云うのです。 りしないのは、そのためだ。どんな時でも思いやりを持つ人になれ、 分の境遇にあったならばと、思いやらずにいられない。使用人を叱ったり罵 酸と人の心の移り変りを知って人となった。 ないほど可愛がっていた道子に、犬養は「恕」、恕すという一字を教訓とし を叱ったり この少年時代の辛い体験が育てたものなのです。 犬養はこう云っています。 物を大切にし、 しない人でした。 無駄遣いをしない習慣は、 「道公、道公」と云って、目の中に入れても痛く 「自分は貧窮困苦のうちに成長し、 メモ代わりとか本の索引に使っ だから他人に対しても、 犬養はまた、 粘り強さ、不屈の精神と共 声をあ あの頃の自 恕す心を忘 て与え ていた げて使 世 うた |の辛

数回掲載されましたが、自分の目で見た戦場を生々しく書いたので大変な評判だ す。日本の従軍記者のはしりです。犬養のルポは「戦地直報」と云うタイトル こう云われて「戦地探偵人」という奇妙な肩書きを貰い、 料を払うのがやっとで、習ったのは英語の読みだけ。それも、 ありましたが、文章家としても知られていたわけです。 言葉には「文章身ヲ起シ言議志ヲ行フ」。文章で身を立て、 ったそうです。犬養が亡くなった時、皇室から賜った誄詞、 のでした。 清書したり、 へ行って戦記報道をやらないか。 犬養が東京へ出て福沢諭吉の慶応義塾に入ったのは明治八年、 その頃慶応では一課目五十銭で教えていたのだそうですが、 国際法の本を読んで、これからは英語を勉強しなければダメだと思ったので ですから明治十年に西南戦争が始まり、 郵便報知新聞にアルバイトの原稿を書いたりして、 危険だが帰ってからの学費は毎月十円出す」。 郵便報知から「どうだ、 勇躍熊本に出かけたので 言論で志を行なったと 生前の功績を讃えた 人の書いたものを ひねり出したも 一課目分の の時 で百 で

余談になりますが、犬養が戦場の凄まじさを歌った漢詩が乃木希典の目 激賞されたと云う話があるのです。「鉄馬いななかず人語らず」と云う一節で 乃木は日露戦争で旅順攻略戦の指揮をとった時、「山川草木転た荒涼 この「征馬すすまず人語らず」には、かって青年犬養の漢詩から受けた 征馬すすまず人語らず 錦州城外斜陽に立つ」の有名な漢詩を残して 心のどこかに残っていたのではないでしょうか。 十里風 に止ま

なり政治家としても活躍したように、 谷干城に会って、「軍人になりたい」と志願しましたが、谷は後に農商務大臣に 戦陣を駆け回っているうちに、若い血が騒いだのでしょう。 福沢諭吉は「この命知らずの大馬鹿者」とこっぴどく叱りつけたそうです。 「慶応の双竜」、 福沢が主宰して演説会がよく開かれましたが、 それよりは学業を続けなさい」。こう諭されて慶応に戻った犬 二人の竜とうたわれた犬養に、 さすがに先をよく見ていました。 福沢は目をかけたようで 尾崎行雄と共に弁舌で 熊本鎮台司令長官 「戦争は

進党に参加、二十三年の第一回総選挙に立候補して連続当選十八回。 の参謀として活躍する、犬養の政治生活の始まりでした。 てしまいました。 犬養は福沢の推薦で役人になったのですが、大隈がその年の政変で参議を追 参議の大隈重信から「若い人材を起用したい」との申し入れがあ 犬養は大隈に殉じて役人をやめ、 翌年大隈が作った立憲改

義理が出来て、肝心の時に進退に困る。 また高利貸しから借りたものでした。犬養は云ったそうです。 かかります。 させないという犬養の親切は、なかなか人には通じなかった」と書いています。 養は冷たい人だとなります。 日当の損になるから、帰れ帰れ」です。 青森から山林払い下げの陳情団がきました。尾崎は三十分もかけて、じっくり聞 慶応以来の無二の親友である尾崎とは、雄弁な点でも貧乏な点でもそっくりでし かったようで、「大養は演説で人を引き付け、演説で人を失う」と云われました。 者が出てくるという老子の言葉、さらには「剛毅木訥は仁に近し」の孔子の句から 遊んだと云うのです。 ていきます。すると犬養のお嬢さん、 借りた金が返せなくて、 く怒ったと云うのです。「公の事で大隈と結んで、私の事で大隈の援助を受けた 一雄が大隈重信にわけを話し、金を借りて高利貸しに返すと、犬養は烈火のごと も考えていたのでしょう。馬場恒吾は「結論のわかっていることに無駄なことは いてやります。ところが犬養は顔を見るなり「そんなことは運動したってダメだ。 ぐっとしゃくり、 つけたものなんだそうです。犬養は当代の雄弁家でした。前かがみに、 りません。 ていた栗本鳅雲が、 犬養の号は「木堂」です。郵便報知の主筆で、犬養がジャーナリストとして尊敬 国民党、革新倶楽部と少数政党を率いましたが、代議士の数は少なくても金は ハァ、何か云っていましたな」。陳情団の云うことは上の空で、演説の腹案で 生涯大隈の 政治評論家の馬場恒吾は二人の違いをこんな風に書いています。 権力者はもとより、 金を借り いいこととはいえんが、別に恥ずべきことではない。士として慎むべ しかし、 髙利貸しから借金をして、政治資金を作ったのです。 ままごと遊びでその真似をして、 ないようにしたと云います。 奴隷になる」。こう云って大隈に突き返したのですが、その金も その心配はない」。犬養の見識でしたが、 舌鋒鋭く政敵に迫ります。 「木強ければ共す」、木が強かったら共にする者、 これにはさすがの犬養も参って、 犬養は終生清貧に甘んじたように、 執達吏がしょっちゅうやつてきては「差押え」の紙 自分より目上の者から借りることだ。 後で新聞記者がどんな話だったのか、尾崎に尋ねる 犬養内閣の外務大臣芳沢謙吉の奥さんにな 尾崎は親身になって聞いてくれたのに、犬 高利貸しなら、向こうは頭を下げて持 情義に厚い人でしたが、 そこら中にベタベタ紙を貼って 古島が実印を管理し 金の作れる政治家では それでも高利貸しに 「高利貸しから借 一度そうすると 見兼ねた古島 口は相当悪 ある時、 共鳴する 山羊髭を を貼っ ぅ

り出す」。 あってほしいから、そのためには正反対の貴族、華族のど真ん中に子供をほっぽ 普通の学校に行けば、 な学習院に入れていることです。 わえるし、 民野党の犬養などはビリのビリになる。 や学問をせんような奴は、どだい屑にしかならん」と云ったそうです。 「バッカ、 それが学習院なら、上は皇室から五摂家、元老など有名人の子弟ばかり。 うた のさえ嫌がって、常に「平民」と大書してきた犬養が、 道子の母が「学習院じゃ、 勉強は学校でするもんじゃない、自分でするもんだ。 名門貴族にまじって物怖じしなくなる。犬養の家は世々代々、 かと思うと、そうではなく、 いなと思ったのは、生涯ほとんど野党逆境に徹し、 『犬養、犬養』と何かにつけてちやほやされるかも 子供のこととなると、 勉強があんまりねえ」とためらうと、犬養は 有名であることの虚しさも身にしみて味 犬養はこう云っています。 やはり人並みに名門意識 子供や孫の道子をみん 履歴書に「士族」と 学校がよくなき 「犬養の子が 野党で

法が成立し、 強要できない」。 れが犬養引退の弁でしたが、長年の盟友古島一雄も「金力か権力がなければ、 党首としての節を通して加藤高明内閣の逓信大臣を辞職したのです。「純粋の浪 議員三十人の革新俱楽部を、それまで対立関係にあった政友会に合同させると、 人として青年たちの相談相手になり、 その犬養が大正十四年五月、政界からの引退を表明したのは、 の世界に生きていけない今日、 同時に、 少数政党を率いていくのに、疲れたのではない 政治家としての大任を果たせた。引退の潮時だと判断したのでしょ こう云って、犬養に殉じて代議士を辞職しました。 犬養に最後の一人になるまで戦えとは、 普通選挙の水先案内にでもなれば…」。 でしょうか。犬養は 念願の普通選挙 とても こ

ります。 知られ、 せんでした。相次ぐ汚職で評判を落としていた政友会です。 養の立候補届けを出し、らくらく当選した犬養を、今度は政友会も放っておきま た田中が天皇 友会総裁の田中義一が急死したの のだそうですが、 やり手だと云われるのは、 ところが、地元岡山の「ボクきち」、「木堂気違い」のことを「ボクきち」と云う 41 てから二か月余り。 護憲運動の先頭に立ってきた犬養は、 もかけず総裁のイスが回ってくることになりました。 政友会は犬養を党の顧問にしたのですが、半ば隠居同然だったその犬養 |に約束した関係者の処罰が出来ず、天皇に厳しく叱られて内閣総辞 い政友会は分裂する恐れがあります。 で党内は騒然となりました。 犬養を放ってはおかなかったのです。 なかった犬養を総裁にしようと、 「自殺説」が流れるほどの突然 こうした読みと行動の速さで っです。 前年の張作霖爆殺事件で、 有力候補四人 抱えているだけでも党の看板にな すると幹事長の森恪は、 機敏に動き出し 次の総選挙に、 のうち誰がなっても、 の死でしたが しょう。 清潔な政治家として 昭和四年九月、 当時首相だっ たのです。 勝手に犬 後継総裁

0 で、 古島一雄に犬養総裁案を持ち出したのです。 山

ようと思えば、 アップを図り、実権は自分たちが握る積もりですから、異存はありません。 たのでしょう。 代わり、 養は総裁受諾にあたって条件をつけたと云われます。「犬養は金を拵えぬ。 を避けましたが、森はさっさと党内工作にかかりました。「犬養は暫定総裁だ」。 は自分がという気になって、党内の納まりもつく」。森は、 満はあっても、人物、 って党の大長老である高橋も、 これで鈴木喜三郎を口説き落とすと、 森はこうして要所要所を固めた上で、犬養総裁に持っていったのですが、犬 したから、 古島に打診してほしいと云うのです。 政策は党幹部の自由に任す」と。犬養も、 鳩山の義兄、元検事総長の鈴木喜三郎を推すだろう。 何としても避けたい。それには犬養をおいて他に総裁はいない。 古島もびっくりしました。森はこう云います。「鈴木を総裁にし する自信はある。 森は最初から犬養は名目上の党首。「憲政の神様」で党のイメー 経歴から文句はあるまい。 膝を叩いて「犬養なら党もまとまる」と大賛成で しかし、それでは反対派が脱党する。 高橋是清を訪ねたのです。総裁、 湯河原で静養していた犬養は、 また犬養は高齢だから、その後 もう金の苦労はたくさんだっ 犬養が承知するかど 誰もがこう見 首相をや 政友会の その

かも知れません。 題を内閣から締め出すこと、政党内閣の首を絞めるようなものなのです。 を決めたのは、統帥権を冒したものだ。こう云うのですが、この主張は軍備の問 を預かっているのは軍令部だ。政府がその軍令部の意向を無視して軍艦の保有量 ンドン会議で海軍軍縮条約を結んだ時、犬養が日ごろの政治信条とはおよそかけ は軍隊を動かすこと、 雕れた、「統帥権干犯」を持ち出して攻撃したことだと思います。統帥権と云うの 私は、犬養の政治生活で唯一汚点があるとしたら、民政党の浜口雄幸内閣 ŧ, 政策を幹部に任せる約束から、 軍隊の指揮・命令権のことですが、天皇から海軍の統帥権 犬養が森に引きずられる結果になったの

道子の父健が、 件が関東軍の謀略だったことをほとんど国民が知ったのは、 ましたが 秘書になったのだと云います。 るには、「多数政党の党首になって、天下を取る以外に道はなかった」と道子は云 年曳き馴れた車だから、曳けばまたどうやら曳けるさ」。こんなことを云ってい 政治を生かし続ける後続がいる」 公の積もりで引き受けたのだ」と云うのは、 犬養自身、総裁を引き受けた時「年寄の冷や水」とか、 政界の一部では早くから知られていました。その狂気の沙汰の陸軍を抑え 横暴になってきた軍閥。 だからこそ、白樺派の作家で「政界なんかに入らないよ」と云っていた 本人も名目総裁、暫定総裁の積もりだったのでしょうか。 「お父さん一人を放っておけるか」。こう云って筆を折り、 おじいちゃんは、 「お父さんには腹心がいる。 ٥ 健が政界入りを決意した、 孫娘の犬養道子です。 軍部を抑えるため、 「老車夫ではあるが、 戦後になってからで 後継ぎがいる。 この言葉には 張作霖爆殺事 最後のご奉 「そうでは 犬養の

ナがあります

政府臨時大総統に就任すると、 たのも犬養の力が大きかったのです。ですから孫文が辛亥革命を成功させ、 多くの国民党要人が日本にやってきて、日本が「中国革命のメッカ」のようになっ 重信に掛け合い、 文を助けたのは犬養なのです。外務省は、日本が革命派を助けているようにとら 十年八月、「中国革命の父」と云われた孫文が日本に亡命してきた時、 解決することで、軍部の横暴を抑えていこうと、決意したからなのです。 中国とのパイプを生かして、まず中国との関係を改善する。満州事変を平和的に ら持ちつ持たれつの相互関係、また信頼関係も生まれていきました。汪兆銘など 配慮、将来の孫文の利用価値を重視する打算もあったでしょう。 ては困ると、 実は犬養は、 犬養が首相就任にあたって、昭和天皇に「身命を賭して」と誓ったのも、 日本滞在を認めさせたのです。ヒューマニズム、道義心と同時に、国策上の 孫文の日本滞在には反対でした。 中国に太いパイプを持つ、 「将来の中国との関係からも、 犬養は古島と共に招かれて就任式に出席していま 数少ない政治家の一人でした。 孫文を庇護してやる必要がある」 犬養は外務大臣をしていた大隈 しかし、そこか 真っ先に孫 この

は名前を聞いただけでも安心出来る、大物でなくてはなりません。七十七歳の高 で金の輸出を再び禁止し、経済政策を百八十度転換させるのですから、大蔵大臣 は三百三議席と圧勝し、議会での絶対多数を確保することになります。 開を図ろう」と考えていたのです。二か月ほど後のことになりますが、 時から「立憲政治の本義に則り、議会を解散して信を国民に問い、重大時局 名と多数党です。久原は議会を乗り切るため、民政党との挙国一致内閣を勧めま パトロンだった人ですが、議会は政友会百七十一名に対して民政党が二百四十九 うです。四ツ谷の自宅には、幹事長の久原房之助が待っていました。田中義一の 橋は、「君もそうだが、私も最後のご奉公の心境でお引き受けしよう」と云ったそ の総選挙では、不景気の中での政友会に対する期待、犬養人気もあって、 ∪たが、犬養は「政友会単独内閣で行く」と断りました。自分の満州政策を進める 組閣の大命を受けた犬養は、その足で高橋是清を訪ねました。 連立内閣だとあれこれ注文が出て、とても実行出来ない。 昭和大恐慌 組閣を決意した 七年二月 政友会 の打 の中

もしていましたから、最適の人事だったと云えるでしょう。 きた森は自分が外務大臣になって、 も電話がかかってきました。 外すというわけですが、外務大臣には娘婿のフランス大使芳沢謙吉を起用しまし 犬養の考えをよく知っているだけではなく、ジュネーブの国際連盟日本代表 閣に当たって、犬養は意気込んでいたと云います。組閣参謀の古島一雄に、 出来ません。 虫の食わない材木で作ろうぜ」と云ったそうです。人格に問題のある者は いわば犬養内閣お膳立ての功労者ですから、 一挙に満州国建国に持つ 務次官とし て対中国強硬外交を進めて 元幹事長の いく腹でしたが、 森恪から 犬養も

据えたこと自体が間違いだった」。 希望で森と親しい荒木中将になったのです。「森と荒木の二人を、内閣の中枢に 犬養は「君は内閣書記官長だ」と言い渡しました。 穴に入らずんば虎児を得ずで、おじいちゃんは最も危険な二人を懐中に抱え 彼らの動きを牽制しようとしたのだ」。 こうした批判に対して犬養道子は云います。 代わりに陸軍大臣は、 森の強

たことにあったように思います。 養内閣を見捨てて動き出したのですから、 閣を働きかけているのです。首相の女房役、内閣の大番頭が、 付けたそうです。 閣議で森が強硬論をぶつと、犬養は「支那のことは、 助けた時も、三井物産上海支店長をしていた森が連絡役を務めました。 父親は自由民権運動時代からの犬養の同志で、犬養も森恪を子供の頃から知って 人間ではありません。 確かに犬養もその積もりで、 そして五・ 小僧」と云って、可愛がっていたのです。犬養が孫文など革命派を 一五事件の火種は、 しかし森は大先輩を立てて、「はい、 組閣から半月もたたないうちに、民政党の有力者に連立内 自信もあったのでしょう。と云いますの この犬養と森との関係が、 容易なことではありません。 俺が知っている」と、怒鳴り はい」と従っているような 決定的に悪く 出来たばかりの犬 犬養の ですから

日本は満州の権益といった実を取ろうと云うのです。 た日中合作の行政機関、 は南京の国民政府に委ねて、中国の顔を立てる。満州には、 務大臣幣原喜重郎と同じなのです。そこで犬養が考えたのは、満州の政治的主権 に商売さえ出来ればよい。 らない。その上で日本が抱えている人口、 日本はそうなっていくのですが、 条約違反で、国際世論の袋叩きにあう。 で結ばれています。犬養は、陸軍が満州建国を強行すれば、日本は必ずこうした ものです。 機会均等を、 ものが一緒に調印されているのです。 その陰に隠れて余り知られていないのですが、「中国に関する九か国条約」という ・五・三」と決めた、 のでしょうか。大正十一年のワシントン会議といえば、誰もが戦艦の比率を「五 それでは犬養は満州事変を平和的に解決するため、どんな手立てを考えて 昭和二年には、「侵略のための戦争はしない」と誓った不戦条約が 中国を日本の「経済立国」の基礎にする点では、 日本やアメリカ、イギリスなど、会議に参加した九か国が約束した 海軍軍縮条約を思い浮かべることと思います。実はこの時、 自治政権を作る。 そのためには、 犬養は、 中国の主権を尊重し領土保全と門戸開放、 国際社会からも孤立してしまう。 つまり、中国は主権と云う名を取 中国と平和共存する必要があると考え 何としても国際条約は守らなければな 食糧問題を解決するには、中国で安全 民政党内閣時代 経済目的を中心にし いた

てきた時からの同志である萓野長知を呼んで、 雄は「立言即行は木堂なり」と云っています。 が犬養だと云うのです。 犬養は組閣の翌日には、 「ひとつ、 計画を立てたら、 支那へ行ってくれ」と頼 孫文の革命を助け すぐ実行

使を派 介石 相手として選んだのが、 たちまち妨害が入って一切がご破算になりますから、 の実質的な責任者でした。 本でいえば首相にあたる行政院長、居正も東北政務委員長をしていて、 京に入りました。主席の蒋介石が正月休みで郷里に帰っていたため、 つのです 0 政権にも多くの 遺して日中正式交渉に移す。これが犬養の秘策でした。 に自分の 萱野は)満州構 わゆる大陸浪人です 孫文の息子の孫科と司法院副院長の居正です。 い友人を持っていました。犬養は萱野を使者とし 想を伝え、 極秘交渉で合意を取り付けた上で、 満州ゴロの類では 萱野は変名で上海経由 陸軍に知られたら なく、 萱野が交渉 孫科 南京の蒋 て南京 で南 は日 問

だけ 中国は不満だろうが、お父さんの古い同志である犬養が首相にになったこの機会 夥しい血を流している。 萓野は真心をこめて説きました。「日本は満州では、 側が犬養構想を承知したところで、犬養が陸軍を抑えられるか、 最後 **萱野は「孫文先生の同志来る」と歓迎されましたが、** これが最後のご奉公という積もりで命を賭けている」。 です。 歩み寄って解決することが日中両国百年のために賢明ではなかろうか。 の皇帝溥儀を擁して、満州独立の準備まで進めているようだ。たとえ、 若槻内閣は不拡大を唱えながら、事毎に陸軍に押しまくられた。 満州の権益は、 血によって得たという国民感情も強い。 日清、 孫科も居正も首を横に 日露の二度の戦い と云うのです。 犬養 中国 振る

す。 の故障かと思って上海 海の日本租界に住んでいる吉住と云う友人の医者の名前で打っていました。 い」。そして「その後はこれだ」と、自分の首をはねる真似をして見せたそうで 得させなければなりません。辛い役目です。 現地へ行って、 正に全て一任すると云うのです。 ことを承知しました。その結果、 苦渋の色を浮かべていた二人も萱野の熱意に打たれ、やっと蒋介石に取 萱野も孫科も感動しました。 「売国奴と罵られるだろう。 返事がきません。 溥儀をはじめ、 へ出て打ち直しましたが、 陸軍が担いで 蒋介石は暗黙のうちに了承という形になり、 だが、両国百年のために、敢えてそれを厭わ 萱野は犬養との電報が他に洩れないように、 萱野は小躍りする思いで犬養首相宛ての電報を しかしこの取り決めをするには、 すると居正が「私が行く」と云うの いる満州側の関係者に犬養構想を納 それでも何の反応もな 誰かが満州 かっ り次ぐ たの

けていたのです。首相宛ての電報はみんな、 あります。実はこの時犬養は、秘書官の健を連れて新年の伊勢神宮参拝に出 の電報を見て、 歴史というものは、 回されました。 の第六感が動き出しました。 何か引っ掛かるものを感じたのです。 森は「病状、 ほんのちょっとしたことで、 完全に快癒の見込み。 「そう云えば犬養は先日、 留守を預かる内閣書記官長の森恪 その進路を変えてしまうこと 八寄越されたし、 しかも発信地は上海とあ 俺と荒木に満州 吉住」。 0

うことに違いない」。そう読んだ森恪は、伊勢神宮から帰京した健に凄い目付き で、「判読不明の電報が犬養の家に行き過ぎると、 とがわかったのです。 想の挫折は、昭和七年一月五日のことでした。 いても、目だけは笑わない、怖い人だったと云います。犬養も「事情があるから リとして見せたそうです。 一旦帰ってこい」と、萱野に召喚電報を打たざるを得なくなったのです。 吉住宛ての東京の電報、 の構想があるように話ぶりだったが、 ですが、最近萱野が頻繁に出入りし、国民党の居正も往来があるこ すぐ陸軍省に電話して、 「病状完全に快癒と云うのは、何か話し合いがついたとい 子供の頃の犬養道子の記憶に残る森恪は、顔は笑って 吉住から犬養宛ての電報発信が相当な数にの 上海の憲兵隊に吉住という人物を ひょっとするとそれに関連のある 陸軍が云っているぞ」と、ニヤ 犬養構 いぼるこ

想がすんなり実現したかどうかはわかりません。ただその後、 なり実現可能なものだっただけに、大変残念な気がします。 維持は日本の憲兵隊に任せる、 現実的解決については、日中両国の利益の両立を第一とし、満州に中国の主権の 発的な独立運動から生まれたものとは考えられない」と否定しています。 案をしているのです。この報告書は、満鉄爆破をきっかけにした関東軍の軍事行 ン調査団が出した報告書は、満州問題解決策について驚くほど犬養構想に似た提 かに日本陸軍の存在を考えれば、萱野交渉が順調に進んだとしても、 地方政府を設置する。大部分は日本人とする外国人顧問を入れ、 勿論「自衛手段とは認められない」。満州国につい としているのです。これを見ても、 国際連盟 ても「純粋で自 犬養構想が \bigcirc しかし リット

に云うようになったのです。 の満州事変の狙いだったからです。森恪もまた「じいさん、あんなことをやっ いると、兵隊に殺されるぞ。 いる」と息巻きました。 森から萓野工作を聞いた陸軍は、「犬養はけしからん。満州事変を潰そうとし 満州を排他独占的に日本の支配下に置く。これ 古島一雄は「これが犬養の暗殺された原因だった」と もうじいさんのお守りは、オレはごめんだ」と、 が陸軍

×

前に既成事実を作ってしまおうと云うのです。昭和七年一月三日には「ゲリラ討 東軍は、 を名目に張学良政権の本拠・錦洲を占領しましたが、 リット 開催国であり、 幣原が失脚しました。 ン調査団の満州派遣が決まっていましたから、 犬養首相の努力には一切お構いなしに、軍事行動を続けました。 国務長官のスティムソンは、若槻内閣の外務大臣幣原喜重郎に絶大 幣原がやりやすいように余り干渉しない方がよいと云う態度だっ 不戦条約の提唱国であるア しかも錦洲は中国本土のすぐ隣です。 メリカとしても、 敏感に反応したの 調査団がやっ 黙っては てくる がア いら

争へとつながることになるのです。 って運用されることになり、 アジア政策は、「軍事力による中国の原状変更は認めない」という、 なくなっ 「スティムソン・ドクトリン」と呼ばれるものですが、これ以後アメリカの いかなる状況も、条約も、協定も一切承認しない」という声明を出しま たのです。 アメリカ政府は一月七日、 結局はこの「九か国条約、 「不戦条約に違反した手段で成 不戦条約違反」が太平洋 この原則に従

だ。殺してしまえ」の叫び声と共に、三百人ほどの群衆に襲われ、 権の八割までが集中していますから、イギリスの対日感情も一遍に悪くなったの リス政府はスティムソン・ドクトリンには追随しない方針を決めていたのです。 どころではなかったし、 すれば、 迫した情勢になりました。居留民が決起大会を開いて日本政府に出兵要請を決議 二人が重傷を負ったのです。上海は反日抗日運動の一番激しい所 市内で太鼓を叩き、 です。上海事変の発端は日蓮宗のお坊さん殺害事件です。一月十八日の夜、 ところが、そこへ上海事変が起こってしまいました。上海にはイギリスの 蔵大臣の髙橋是清が大きな目をギョロリとむいて、 然閣議室のドアを開けてしまった犬養道子は、こんな場面を目撃しています。大 ったタオル工場を襲撃、 った日本人居留民が「報復だ」と云って、現場近くの排日ボイコット運動の拠点だ がいるというのかね。みんな引き揚げてくればいいではないか」。 二・二六事件で高橋が暗殺されるのは、この発言も原因になったと云われ 面蒼白だったそうです。陸軍省に戻った荒木が忿懣をぶちまけたため、これを聞 おられる総理の縄張りだ」。余計な口出しはするなと、止めを刺された荒木は顔 満州をかっさらわれて。まず、 まだ若い。 なのです。荒木が激しく云い募ると、高橋は大声で叱咤したと云います。 いた青年将校たちが「高橋許せず、 それでも、 陸軍大臣の荒木は閣議で陸軍出兵を提案しましたが、 第三艦隊を編成して陸戦隊を増員しましたが、 軍隊を出すよりも船を回して居留民を一時避難させた方が、ずっと安上がり の大角岑生中将は、 日本国内も「暴支膺懲」、乱暴な支那を懲らしめよと沸き立ったのです。 突入したのです。 っていた海軍陸戦隊と、中国の第十九路軍が些細な発砲騒ぎから衝突、 波が一つきただけで大変だ、大変だと云う。支那の身になってみろ。 結局は上海へ出兵することになってしまいました。二十八日の夜、 この段階ではまだイギリスは日本に好意的でした。 お題目を唱えながら寒修業をしていた五人が、 警官との乱闘で双方に死者が出たため、上海は一挙に緊 遠い満州のことです。長年の日英同盟 文部大臣の鳩 陸戦隊は千八百人、十九路軍は七万の大軍です。 満州を返すことが先決だよ。支那問題は、 髙橋消すべし」といきり立ったのです。やがて <u>Ш</u> 郎が「あれで戦争出来るのかね」と云う それでも兵力は三千余り。 「一体、上海に何人の日本人 首相官邸で遊んでいて偶 の誼もあり、 です。 世界恐慌でそれ そうなんです 突然「日本人 一人が死亡、 いきり立 ここに 「君は ます。 国利

美談に仕立てあげ、 破するため、 のです。十九路軍は をして「陸軍出兵」を頼み込み、 の戦意高揚を図るため爆弾を抱えて敵陣に突っ込んだ「覚悟の戦死」。こんな軍国 のです。実際は爆薬操作を誤っての自爆死だったんだそうですが、陸軍省は国民 の「肉弾三勇士」もこの時の話です。高さ三粒の鉄条網に囲まれた機関銃陣地を突 腰を抜かさんばかりの狼狽ぶりだったそうです。 爆薬を詰め込んだ竹筒を鉄条網 軍歌から映画やお芝居にもなって華々しく宣伝されました。 中国軍の中でも最精鋭部隊です。 閣議は二月二日、 の 間に押し込み、 金沢の第九師団派遣を決定した 苦戦が続き、 何度も何度も荒 爆破しようとした 有名な廟巷鎮

後わずか二日で戦闘行為を中止させたのです。実はこれは昭和天皇のご指示でし を撃滅出 天皇の指示を忠実に守ったのです。 国際連盟総会までに、 ほど心配されていました。 に停戦命令を出しました。 を送り込んだ三月三日のことでした。 上海から十九路軍を撃退出来たのは、上海派遣軍を編成して、さらに二個師団 上海から十九路軍を撃退したら、 天皇は、上海事変が拡大すれば国際関係がさらに悪くなると、 お前ならば守ってくれるであろうと思っている」。こう頼まれた白川が 来る」と戦闘継続の声が出ましたが、 何とか停戦してほしい。 白川の軍司令官親補式の時、 師団長や参謀の間からは「あと二時間追撃すれば、 軍司令官の白川義則大将は午後二時、 決して長追いしてはならない。 白川は断固としてはねつけ、 私はこれまでいくたびか裏切ら 「白川、 ひとつ頼みがあ 夜も眠れない 三月三日の 直ち

来る。 は白川 期停戦を心から喜ばれたのです。 られています。 賀式で、朝鮮人の投げた爆弾によって重傷を負い、命を落としました。 らせることが出来たのです。 も関心の強い上海での戦争でしたから、日本軍の見事な停戦に称賛の声があがっ 皇が直接ああしろ、 参謀総長、軍令部長の立てた作戦計画に基づくもので、立憲君主制の下では、 て異例な指示でした。 天皇の軍隊に対する命令は「奉勅命令」と云いますから、天皇なら何でも命令出 ひなまつる日に いくさをば とヾめしいさを おもひてにけり」と、 そう思われるかも知れませんが、 |未亡人に、「国際連盟との衝突を避けさせた功績を思う」と題して、 います。 戦争が終わるまで表向きにはされなかった歌ですが、 五月五日には停戦協定が結ばれ、上海事変を局地紛争の形で終わ こうしろと、命令されることはありません。 三月三日ジュネーブで開かれた国際連盟総会では、 しかし白川大将はその前、 そうではないのです。 四月二十九日の天長節祝 奉勅命令は、 それだけに極め 「をとめら 昭和天皇 天皇は早 歌を贈 各国と 全て

れていきました。 れたため陸軍出兵を余儀なくされ、 柳条湖での満鉄爆破という関東軍の謀略で始まった満州事変は、 犬養首相が全く予想もしていなかった戦争でした。 しかも驚くのは、この上海事変もまた関東軍の謀略だったこと 犬養が望んでいた中国との善隣友好外 大軍に 満州国建 交は崩 包

を告白したのは昭和三十年代に入ってからでした。 手段を選ばない謀略工作を実行したのは、上海公使館付武官補佐官の田中隆吉少 さす へを殺し いう決着もまた、 がに自分のこととなると良心が咎めたのか、 東京裁判で張作霖爆殺事件が関東軍の てまで国民の反中国感情を煽り 謀略でつけるしかなかったのでしょう。 関東軍の行動を支持させる。こんな 謀略だったことを暴露し 田中が上海事変謀 それ にしても、 略の た人です 真相

したが、 ました。 奉天へこい」という、 でしょう。 されました。 マタ・ハリ」とか云って騒がれましたが、 中の謀略だったと云われます。 しかけたのです。 日蓮宗のお坊さんを殺すため、中国人の殺し屋を雇い、 話せる彼女が、 女学校へ通って日本で育ちました。 て独立まで漕ぎ着ける」。田中の謀略工作の手先となったのが、愛人の川島芳子 の際上海で事件を起こして、 の計画が事毎に邪魔される。 満州事変が発生して、 清朝の王族粛親王の娘ですが、 板垣はこう云うのです。「政府が国際連盟を恐れて弱気なの 田中少佐の方は、 彼女もまた、 女スパイとして活躍するには絶好の舞台だったようです。 陸戦隊と十九路軍が衝突するきっかけになった発砲騒ぎも、 関東軍高級参謀板垣征四郎大佐の電報で奉天に駆け付けま 半月ほどたった昭和六年の十月初めです。 関東軍に踊らされた犠牲者の一人だったと云って 居留民の間を走り回って決起大会を開かせ、報復をけ 来年春には満州独立まで持っ 列国の注意をそらせてほしい。 軍服姿の川島芳子は「男装の麗人」とか、 国際都市上海は、 大陸浪人川島浪速の養女となり、 戦後国民政府軍に「裏切り者」として銃殺 日本語、 抗日組織に金をばらまき ていく積も そのどさくさに紛れ 中国語に、 田 りだが、 中は 松本高等 「東洋の 芳子は 英語も 「至急 東軍 45 \mathbb{H}

切内緒で運び、 形の上では、 に集まっている間に、 「満州国承認を求める」対外通告をしました。 しかし板垣大佐の計略は、 自分たちの国を作ったことになっていますが、 九日には溥儀が執政に就任して建国式、 張景恵など親日派の中国人が行政委員会を組織し、 事後承諾させるといった陸軍特有のやり方です 昭和七年三月一日、満州国を誕生させてしまったので まんまと当たりました。 十二日には日本をはじめ十八か国に もちろん犬養首相や芳沢外相に 全ては関東軍のお膳立て 関東軍は、 「建国宣言」をし 列強の目が す。 は一 でし

す。 を講ずる」と云うしかありませんでした。 を主張しましたが、 に反対しようと、 前日の二月二十九日ですが、 こうなると、 日本の 犬養としても団長のリットンに「満州問題については、 領土的野心を立証することにもなると、 もう完全に二重国家です。リットン調査団が来日したのは、 陸軍と関東軍は独断専行、 犬養は反対です。それでは関東軍の独断を許したことになる 調査団がどんな調査をしようと、 陸軍大臣の荒木は「満州国の 満州を独立させてしまうと云うの 何と か承認を引き延ば 中国と円満解決の道 犬養首相がどんな 即座承認 建国

閣の九月十五日で、 交文書とは見做さない」と完全無視でしたし、ほかの国も「通告を受けとった」と いう回答を寄越しただけでした。日本の満州国承認は犬養暗殺後、次 間に打開策を図ろうとしたのです。 日本は国際連盟脱退の道を辿ることになります。 アメリカは満州国の通告に対し の斎藤實内 「正式な

させているようだ。 来ていました。手紙には犬養の「満州構想」も書いてありましたから、上原にこんな内容の手紙を出したのですが、上原の所には荒木が陸相 天皇を動かすことまで考えていたのです。 すが、犬養は上原が動かないと見るや、参謀総長になった閑院宮、 の意志が下に徹底しない。満州では佐官クラスの連合勢力が、上官を自然に黙従 犬養は二月に入ると、重ねて上原に手紙を出しています。 だ荒木は、中央では素知らぬ顔をしながら関東軍に満州建国を急がせたのです。 から任せてくれ。若い軍人がいろいろやっているが、 の統制を回復しようとしたのです。「満州の問題は、 沢外相は云っています。 十歳をはるかに超えた老人とはとても思えない、凄い気迫だった」と、娘婿の芳 こうして次々と事志と異なり、軍部の奔流のような勢いに流されていった それでもなお軍部に敢然と立ち向かおうとしていたのです。 陸軍の下剋上を何とかとなければダメだ」。こう訴えたので 犬養は陸軍の長老である上原勇作元帥を動かして、 上原の所には荒木が陸相就任挨拶に 君はそれを抑えてくれ」。 自分にいささか経験がある 「最近の陸軍は、上官 さらには それを読ん それは

陸軍の統制は回復出来る。 木も知っていたでしょうし、青年将校たちの耳にも入っていたでしょう。 われたのではないか」と思ったそうです。森が知っていたということは、 話を、森にもしていたのか」と、 ことを考えていたのが、いけないんだ」。 たと云うのです。 「総理も間違っているよ」と云います。芳沢外相がわけを尋ねると、 犬養がピストルで撃たれて、 「総理は陸軍の若い連中、三十人くらい首を切ってしまえば、 参謀総長の了解を得て、陛下に申し上げる。そういう 危篤状態が続いている時です。 一瞬ヒヤリとしたものを感じ、「それで犬養が狙 芳沢は「犬養が自分に熱っぽくしてい 駆け付けた森恪が 森はこう云っ

を唱えたものですから、荒木、 云われたほど宇垣全盛の時代が続いた後です。荒木はすぐ陸軍中央の要職から宇 ら元陸軍大臣の宇垣一成派と上原勇作元帥派とに分かれ、 たのに、 それにしても、 皇室をお守りするのは我らをおいてない」。 肝心の陸軍上層部に心ある軍人はいなかったのでしょうか。残念なが 参謀次長の真崎甚三郎をはじめ次官や軍務局長を自分の腹心で固 昭和天皇も犬養首相も、こんなにも陸軍統制の乱れを心配して 「皇道派」の誕生です。 上原派の荒木が陸軍大臣になったのは、 真崎一派を皇道派と呼ぶようになったのです 荒木が「日本の陸軍は天皇股肱の こう云って盛ん 勢力争いに鎬を削っ 宇垣軍閥と 7

日本の陸軍のことを「皇軍」と云うようになったのも、

荒木が大臣に

なっ

年一月亡くなられた評論家の村上兵衛さん、この人は陸軍士官学校を出て近衛歩 ぶ異様な光景が見られたそうです。しかし武器を持っている軍隊に秩序、規律が 教育総監部本部長就任のため列車で上京した時、「我らのホープが中央の要職に 上さんの耳にも聞こえたと云うのです。 兵第六連隊の連隊旗手をした人ですが、村上さんの書いたも てからなのです。 つく」とあって、 とはいえ、満座の中で若い中尉が「おい荒木、一杯飲め」と云うと、ニコニコして かったため、これに対抗する「統制派」が生まれ、二・二六事件の大きな原因にな 「バカが!わが国軍にそんな言葉はない」。こう吐き捨てるように云ったのが、 二六事件は、 なくなれば、 っていきます。しかも一番上に立つ荒木が、平気で統制を乱したのです。 「若い者は元気がいいのう」と喜んでいたというのですから、呆れ返るばかりで 青年将校が有頂天になるのも当然です。熊本の第六師団長をしていた荒木が 査察にきた将軍が「わが皇軍は」と訓示すると、すぐ傍にいた連隊長が 陸軍は「国家、 それは「凶器を持った集団」になってしまいます。 荒木のような見識のない将軍の姿勢が生み出したのです。 それまで歌や詩の世界で「皇軍」という言葉が使われることは 沿線の駅と云う駅には青年将校が集まり、 国民の軍隊」ということで、「国軍」と云っていました。 荒木の「皇道派人事」が余りに露骨で激 「荒木閣下万歳」を叫 のにこん 五·一五事件、 な話が出 酒の席

げした所です。 その一方では、 けない欠食児童は二十万を数え、 底で街には四十二万の失業者があふれ、農村は米価暴落に喘いでいました。 たと云われますが、 狂的に歌うようになったのです。 で大儲けしていました。 したのです。戦争は、 は「青天の霹靂」のような「はけ口」となり、ほとんど「挙国一致」で満州事変を支持 が全く先の見えない、 の収入は半減し、 思う心なし」。 心もかきたてました。 昭和の大恐慌から満州事変、上海事変を経て、五・一五事件に至る日本の社会 和五 十月事件といったクーデター計画の背後にあったのも、 何か集団ヒステリーのような現象を見せていたように思います。不況のどん 年の浜口雄幸首相狙撃事件、 「国を悪くしているのは権力者や財閥だ。 青年将校たちが「汨羅の淵に波騒ぎ」で始まる「昭和維新の歌」を熱 そして「一人一殺」、 ればダメだ」と、 「権門上に傲れども国を憂うる誠なし 自分の家で食べるお米もありません。 汨羅というのは紀元前三世紀、 軍縮で沈んでいた軍人の血を沸かせましたし、国民の愛国 しかも政党の汚職が続き、 閉塞状況の中で満州事変が起こったものですから、 街にはエロ・グロ・ナンセンスの退廃的な気分が漂 娘の身売りも激増し 五・一五事件の三上卓中尉が一晩で作詞作曲 現状打破を目指す動きが渦巻い 狙う相手を一人ずつ担当して殺して 翌六年の橋本欣五郎中佐ら「桜会」の三月事 財閥系の銀行、 中国の憂国の詩人屈原が身投 ていました。いわば日本中 学校にお弁当を持っ 財閥富を誇れども社 国家革新には、 そうした切羽詰まっ ていきました。 商社はドル買い こうした 国民に てい

やるのに、右翼には何とも甘いのです。血盟団の盟主井上日召にしても、 銀行本店前で、 犯行と見ていたのですが、三月五日には三井合名理事長の団琢麿が日本橋の三井 衆の中から飛び出した二十歳の青年小沼正が 井上が民政党候補応援のため、 体たらくでした。 が右翼の大物の家だったため手が出せず、 とわかったのは、 当てるようにして三発発射、ほとんど即死でした。警視庁は最初、 和七年二月九 海軍青年将校らの五 日の夜、 十九歳の菅沼五郎によって射殺されました。これが血盟団 右翼関係者の密告からです。 前蔵相の井上準之助が射殺されました。総選挙の最中で 一五事件 本郷の小学校で車を降りて歩き出した時です。 日召の自首でやっと捕まえるといった あの頃の警察は、左翼はびしびし 井上の脇の下にピストル が密かに進められていたのです。 選挙がらみの のを押し 潜伏先 の犯行

ブルのようなものでした。 海で断食四十日の間に書き上げたと云う「日本改造法案大綱」は、 事件はそれに連動した、海軍将校たちの第二弾だったのです。 ん。と云いますのは、血盟団事件は井上日召ら民間側の第一弾であり、 たものだと突き止めていたら、あるいは五・一五事件は防げていたかも知れませ 「よし、自分たちの手で」となったのです。 いない」。こう熱っぽく訴えたものですから、理想主義に燃えた若い軍人ほど、 の軍事クーデターに求め、北が「それが出来るのは、純粋な君たち青年将校しか 国家主義者の大川周明と北一輝の二人だったからです。中でも北が大正八年、 っ子が同じなのです。青年将校や右翼に最も大きな思想的な影響を与えたのが でいえば、五・一五も二・二六も血盟団も、 この時、ピストルの入手経路を徹底的に追及して、 天皇を奉じて、 国家を改革する。 みんなどこかでつながっています。 それが海軍将校から渡さ その手段を戒厳令下 人間的なつながり 青年将校のバイ 五・一五 上

った時、 明や北一輝の門を叩いたのです。 休みや正月休みの休暇でも、藤井だけは郷里の佐賀には帰らず、 して、白人支配を打破せよ」と叫んで、下級生に同志を増やしていきました。 でしょう。 シントン会議で海軍軍縮の決まった大正十一年でした。生徒数が一学年五十 り心服してしまったのです。 の青年を集めて法華経を説く、 一挙に五分の一に減ってしまいましたから、そんな沈滞気味な空気に反発したの 海軍革新派のリーダーは藤井斉大尉です。 近くの大洗で護国堂という道場を開いていたのが井上日召でした。 藤井は在校中から「ワシントン条約破棄」を唱え、「アジア民族を結集 日召の強い信念と情熱的な弁舌に、 藤井が昭和四年十一月、 藤井が海軍兵学校に入ったの 霞が浦航空隊勤務にな 上京して大川 藤井はす 5 人と 周 ワ

それにしても、 、みんな日蓮宗です。 尉が法廷で「日蓮の、 満州事変を起こした石原莞爾中佐といい、 三人とも強烈なカリスマ性を持っていました。 我れ国の柱とならんという心境だった」。 北一輝、 こう云って 井上日召と

期待すべきものではなく、 造しなければ、 いるように、 「己れを革命の捨て石に」と、「捨て石主義」のテロを決意したのです。 曹洞宗を経て、日蓮宗に辿り着いて得た信念が、 思想に惹かれ、 三人とも法華経の教義がどうのこうのと云うよりも、 日本も国民も救えないという結論でした。 たとえ一粒の種でも自分で育て上げたものでやろう。 それが土台になったような気がします。日召がキリ しかも、それは 現在の国家の状態を改 日蓮の 愛国

変更を迫られた日召は、すぐ実行出来る民間側の「一人一殺」でまずのろしを挙げ つらの頭にあるのは、 お前をこの地位につける」といったポストの約束。 でした。ところが連日連夜、料亭でどんちゃん騒ぎです。あげくは えるようになったのは、「十月事件」の首謀者が憲兵隊に検挙されてからです。こ 辺調査をして完璧を期すといった、徹底したものでした。日召が「一人一殺」を考 家改造に当たる血盟団を作ったのです。元老の西園寺公望ら十数人をリストに挙 鉄火場の中で鍛えられたと云うのか、 の橋本中佐らのクーデター計画には、藤井大尉も海軍抜刀隊を率いて参加の予定 います。東大や明大のインテリ学生までが、日召を盟主と仰ぎ、 した藤井は上海上空で戦死してしまいました。海軍側のリーダーを失って、 したのです。ところが上海事変が勃発し、 日召は、 誰が誰をやるかはお互いに一切知らせない。 いて海軍側が第二次襲撃をやるという、二段作戦に切り替えたのです 満州で陸軍の特務機関の仕事をしたり、 権力欲だけだ」と絶望し、 何か独特の人間的な魅力を持っていたと云 航空母艦加賀のパイロットとして出征 担当が決まったら、徹底的に周 血盟団と海軍だけでやることに そんな姿を見て日召は「こい 中国革命に参加した 死を覚悟して国 「成功したら りして、

た人ですが、 建設はあなたがやってくれ」と云っていたのです。その橘が破壊活動を決意した 主義社会を作る。愛郷塾には、 経営を実践していた人です。郷土を愛し、 ルストイの農民思想に感銘を受け、退学して郷里に帰ると、家畜などの多角農業 をやっていた橘孝三郎も協力することになりました。この人は一高在学中に、 けたのですが、 海軍の襲撃計画には、水戸郊外で「愛郷塾」という道場を開いて、農村青年運 日召の自首を聞いて、後に続くべきだと思ったのでしょう。 士官候補生十一人だけでした。 自重論をとって、はっきりした返事をしません。結局陸軍から参加 ただ橘は破壊活動には否定的で、日召も「破壊は自分たちがやる。 安藤輝三中尉、この人は二・二六事件で首謀者として処刑 この橘の思想に共鳴した青年たちが続 土を愛し、 農業を中心とした自治社会 陸軍にも 々と集まっ され 働き

牧野伸顕内大臣邸や政友会本部、 一斉蜂起と決まったのです。第一組九人が首相官邸、 東京や近郊の変電所六か所に手榴弾を投げて帝都を真っ暗闇に て五月十三日、土浦に集まって最終打ち合せをし、 警視庁などを襲撃し、さらに愛郷塾の 残り十人は三組に分かれ 十五日午後五 別働隊七 7

ì

のチャ なかなかの女傑だったようです。犬養の家には右翼、左翼の主義者と称する連中 びをしていました。 たと云います。 のよ。そうしないと承知しないから」とポンポン云ってのけ、 拭き」。仕込み杖を抜いて玄関のガラスを割った時には、「ガラス代、あんた払う はいつも仲子。 斎の孫、 と走り込んできたのです。 に行った時です。ピストルの音がして、 に親戚の結婚式に出ていました。 しょっちゅう金をせびりに押し掛けてきましたが、女中さんが呼びに行くの ップリンを案内して相撲見物に出掛けており、 東大総長をした長与又郎、作家の長与善郎は伯父さんに当たりますが、 土足で上がりでもしようものなら、「そこに雑巾があるから、 日で、 五歳になる道子の弟の三人だけです。 午後五時半頃、 首相官邸は閑散としていました。 仲子と云う人は日本の保険衛生の基礎を築いた長与専 道子は芳沢外相官邸で従兄弟たちとラケット遊 仲子が食堂でお茶でもと思って、 警護の巡査が「暴漢です。 犬養夫人も芳沢外相と一緒 健は前日来日した映画俳優 官邸にいたのは、 一歩も引か お逃げ下さい」 犬養を呼び な 为 5

た弾丸で犬養は血に染まったのです。 うとした瞬間です。山岸宏中尉が「問答無用、撃て」と叫び、三上中尉らの発射 ために来たか、 足を叱ったところへ、乱入してきたのが裏門組の四人です。三上が「我々が何 うにぴたりとピストルを突き付けました。 に四人が犬養に続いて日本間に入りましたが、仲子には残った一人が動かないよ あっちへ行って話を聞こう。ついてこい」。若者たちは一瞬、気を呑まれたよう でヤジを抑える時と同じ仕草でゆっくり手を振り、 のでしょう。弾丸が装填してありませんでました。 んできて、三上卓中尉がいきなりピストルを発射しましたが、三上も慌てていた と変わらぬ静かな調子で云います。そこへ表玄関で巡査を射殺した五人が駆 もないと思ったそうです。果たして犬養は「いいや、 本抜き取って「話せばわかる」と一同を見回し、「靴ぐらい脱いだらどうじゃ」と土 仲子はとっさに、下手に犬養を逃がしては醜態になる。 わかるだろう。 言い残すことはないか」と云い、 犬養が座ってタバコ盆を引き寄せ、一 犬養は「まあ急くな」と、 「撃つのはいつでも撃てる。 逃げぬ。 また逃げるような 会おう」と、 犬養が何か話そ け込 人で つも

犬養は血潮の中で両手をテー たそうです。 仲子はピストルを突き付けられたまま、 てきかせることがある」 した。 いたと云うのですす。 同時に頭の中では、万一に備えて記憶していた優れた外科医、 台所から飛んできた女中さんに「呼んでこい。 即死でなく出血多量の場合、 ø ブルに突っ張るようにして、 こう云って 襲撃組が走り去って仲子が日本間に駆け込むと、 一つ、二つと、九つまで銃声を数え 「タバコに火をつけろ」と命じま すぐやる応急手当ての 姿勢だけはシャンと座 いまの若いモン。 順序 7

女中さんの手が震えてしまって、 止めを縛ると、次々と名医に電話しました。 の時の電話は大したものでした。医者の尋ねたい全てのことを、 とんでもな 弾丸の貫通場所ま い女傑かも知らん」と云ったそうです。 で的確に話された。それもごく簡潔に。 火はつきません。 駆け付けた外科医は、 仲子は弾丸 の入り口を数 あんたの 脈拍か

れるように廊下に両手をつき、長い間背中を震わせていたと云います。 軍大臣の荒木を見付けると、その前に立ちはだかる形で低いが強い声で「荒木さ の真似をして紙をベタベタ貼った人ですが、次々と駆け付けてくる閣僚の中に陸た。道子が鮮明に覚えているのは、伯母の芳沢外相夫人、ままごと遊びで差押え 急変して午後十一時半危篤となり、 らんようじゃ、兵隊の訓練はダメだ」。こんな冗談を云っていましたが、 れていて生命は取り止める」との診断でした。犬養も「九つのうち三つしか当た 医師団の最初 あんたがやったんだ!」と迫ったことです。 は三発。 背中にも四発目がこすって通った傷はありましたが、 の発表は午後六時四十分にありましたが、こめかみと顎から入 午前二時半亡くなったのです。七十 とたんに軍服姿の荒木は崩れ 七歳 で 折 つ

人です。 だこの五・ た程度で、 荒木と親しい森恪の耳にも入っていたでしょう。 二六事件に連座して無期禁固になった陸軍の山口一太郎大尉は、 なものでした。しかも計画は、 る荒木側近の第一人者です。 にも云って絶対に抑えろ」と云います。 部長の小畑敏四郎少将に相談すると、小畑も「陸軍が巻き込まれないよう、 るのが勝手だが、陸軍が巻き込まれるのは避けたい」。そう思って参謀本部第三 一輝の ったのは、 西田税から聞いていた」と云っています。 首相官邸襲撃組は丸ノ内の憲兵隊に自首、他の襲撃組も手榴弾を投げたとい 下で青年将校のまとめ役をやり、北と共に二・二六事件で死刑になった この日別働組にピストルで撃たれ、 山口は「こんなに知れ渡っていては、ろくな結果になるまい。 一五事件は、犬養暗殺だけがあったという感じで、 変電所爆破も失敗し、 このせいだったのです。そして西田は、 当然、 一部の関係者には事前に洩れていたのです。二・ 事態そのものはその日うちに納まりました。 荒木陸軍大臣にご注進に及んだで 安藤輝三中尉が海軍の呼びかけに応じ 重傷を負っています。小畑は人も 西田は騎兵少尉の時に陸軍を辞め 陸軍の参加を邪魔したと云 計画は大変ずさん 「五月の初めに しょう 海軍がや 西 た 田

ます を持つ それなのに日曜日の夕方、忙しい首相が確実に官邸に いるかどうかわからなかったので、 んだのでしょうか。 いました。どこから手に入れたのでしょう。牧野内大臣 他にもいっぱいあります。海軍将校たちは、 チャッ 不在中に襲撃したら、 迎晩餐会の襲撃を検討 手榴弾を投げただけにしたと云ってい 全ては失敗に終わっ したと云います。 いると 首相 一の襲撃 いう情報を、 0 組は、 7 首相 しま n

になります。 リス人でしたが、結局歓迎会の確実な日程がわからず、十五日決行にな リカ外交にもヒビが入るだろうと云うわけです。 森や荒木と親しい大川の手を通じて、 晩餐会を狙えば、 考えられるのは、 十五日なら犬養が必ず官邸にいると、 政府要人を一挙に襲えます。 大川周明が海軍将校の相談役になって 地図や情報を入手したことです。 もっともチャ 彼らが知っ ツ いましたか った たこと

にとって、テロの影に怯え、軍部や右翼を恐れる時代になってきたのです。 れたのだ」と云うのは、ここにあります。古島は「政友会本部に犬養の屍を担ぎ込 とっても、大変邪魔な存在でした。古島一雄が「満州建国に反対したから、 情報を掴んでいながら、 しない。あげくに陸軍改革まで考えている。 とは、云えるでしょう。満州国に反対し、建国宣言してもなかなか承認しようと に五・一五事件を防ぐ手立ては一切とろうとしなかった。やるに任せたというこ んで、弔い合戦をやれ」と云いましたが、耳をかす者はいませんでした。政党人 森や荒木と海軍将校を結ぶ、直接の接点はありません。ただ森や荒木が不穏な 憲兵に調べさせたり、 そんな犬養は、森にとっても荒木に 警護の警官を増やしたり、 殺さ

ですが、 お国民の眼前に展開されておる。それは立憲代議政体である。 えて国民の覚悟を促す」と題して、「国民の進むべき政治的進路は、坦々とし 語道断、未曾有の不祥事」と激しく非難しましたし、 敗戦まで十三年間、 幕を引かなければならなかったというのは、さぞ辛いことだったでしょう。 健な考え方で欧米にも評判のいい斎藤の中間内閣としたのです。 の大立者、 首相官邸を襲撃するという、組織的な集団テロなのです。 過激な方向に走るかわかりません。そこで西園寺は、 した。政党は汚職続きで国民の信頼を失っていますし、 五事件こそはまさに日本の歴史の大きなターニング・ポイントでした。この後 元老の西園寺公望は、後継首相に海軍出身の斎藤實大将を推薦しました。 首相の暗殺はこれまで、 議会政治の確立に力を入れてきた西園寺が、犬養の死と共に自ら政党内閣の ファッショのような者は絶対にいけないというのが、 編集局長の菊竹六鼓は自ら筆をとって軍部の暴走を攻撃しました。 枢密院副議長の平沼騏一郎や「陸軍にやらせろ」といった声もありまし ところが今度は、 政党の党首が首相の座につくことは二度となかったのです。 原敬、 浜口雄幸と二度ありましたが、 制服を着た陸海軍の軍人が、 福岡日日、 海軍の軍人ではあるが、 陸軍にやらせればどんな どの新聞も社説で「言 昭和天皇のご意向 まだ明るいうちに 国民に対する挑戦 現在の西日本新聞 あれほど政党政 いずれも右翼の 右翼

かっては、

地元の青年将校が抗議に押し掛けました。

人を中傷するものだ、

と云うのです。

在郷軍人会は不買運動

回し

の太刀洗航空隊の爆撃機が福岡日日の社屋上空を旋

断乎としてこれを排撃する、

堅い決心を持て」と書い

たのです。

陛下の軍隊を侮辱し、

だけでも三十五万通にのぼりました。海軍の検察官が三上たち三人に死刑を求刑 美する声が強くなっていったのです。減刑運動は全国的規模に広がり、 嚇するように急降下を繰り返しましたが、 に直接参加していない橘孝三郎は無期懲役でした。 年です。むしろ重かったのは民間側の判決で、 三上ら二人の禁固十五年が最髙でした。陸軍軍法会議も士官候補生全員が禁固四 すると、右翼は「血も涙もない論告求刑だ」と騒ぎ立てました。温情主義というの し込む女性もいましたし、血書嘆願もありました。 世論の圧力に押されたというのか、 かし七月に入って海軍の軍法会議が始まった頃から、「犯行の動機が純粋だ」 「愛国の至情から出たものだ」とか、青年将校たちを国士、義士扱いして賛 八年十一月に出た海軍軍法会議 菊竹はびくともせず頑張りました。 変電所爆破を計画したで犬養暗殺 法廷に寄せられた減刑嘆願書 の判決は 結婚を申

見過ごした新聞もだらしないし、被告を賛美した世論も狂っていました。 五事件の関係者は昭和十五年までには全員が釈放されたのです。 家の否定でした。その上、皇太子誕生、皇紀二千六百年と相次ぐ恩赦で、 持つ軍人が徒党を組み一国の首相を暗殺しても、 ではまるで殺された犬養が悪人で、テロリストは愛国の志士です。こんな談話を ない。この事件を契機として、被告の心情を無にしないことを切望する」。 ったのです。「純真な青年がこのような行動に出た心情を考えれば、涙なきを得 しかも軍法会議の判決の後、新聞に出た荒木陸軍大臣の談話は驚くべきも 一人も死刑にならない。 法治国 武器を 五 これ 0

二六を生んだのです。 乱れを放任したところに、最大の禍根がありました。この姿勢が五・一五、 上海事変と、 の重傷を負います。 気がした」。本当にその通りでした。その鈴木も二・二六事件で襲撃され、 家の綱紀から見て許すべからざる失態だった。政治の大綱が断ち切られたような の処分にして、 の犠牲になったが、後始末については誠に遺憾な点が多い。どんな理由があるに り ても、あの暴徒を愛国者と認め、しかも一国の宰相を暗殺した者に対して減刑 ています。「犬養は満州の独立に反対した。そして策動家の手先になった軍人 終戦を決めた首相、 相次いだ謀略、 一人も死刑に処せられる者がなかったと云うことは、 張作霖爆殺事件に始まり、三月事件、満州事変、 海軍出身の鈴木貫太郎大将は当時侍従長でしたが、 クーデター計画を厳罰にしなかった。 軍紀、 十月事件、 いかにも国 軍律の こう云 <u>-</u>

こに日本の不幸がありました。 転換点で 浜口雄幸も犬養毅も、 太平洋戦争開戦に至るまで、 個々の政治家で軍部に抵抗した人はいましたが、 政党が骨抜きにされてしまって、その力を発揮出来なかった。こ 軍部に身を挺して対抗しようとした政治家でした。この まさに五 このような政治家が出なかった。 ٠ 一五事件こそは、 軍部の力が余りにも 日本の政治の大きな と云うより、